

ではさっそく！  
投稿してみよう

1 スマートフォンで「ウェザーニュース」アプリをダウンロードする。アプリを起動する。

2 現在の状況を写真に撮る



3 状況の様子を選び、コメントを書いて送信！



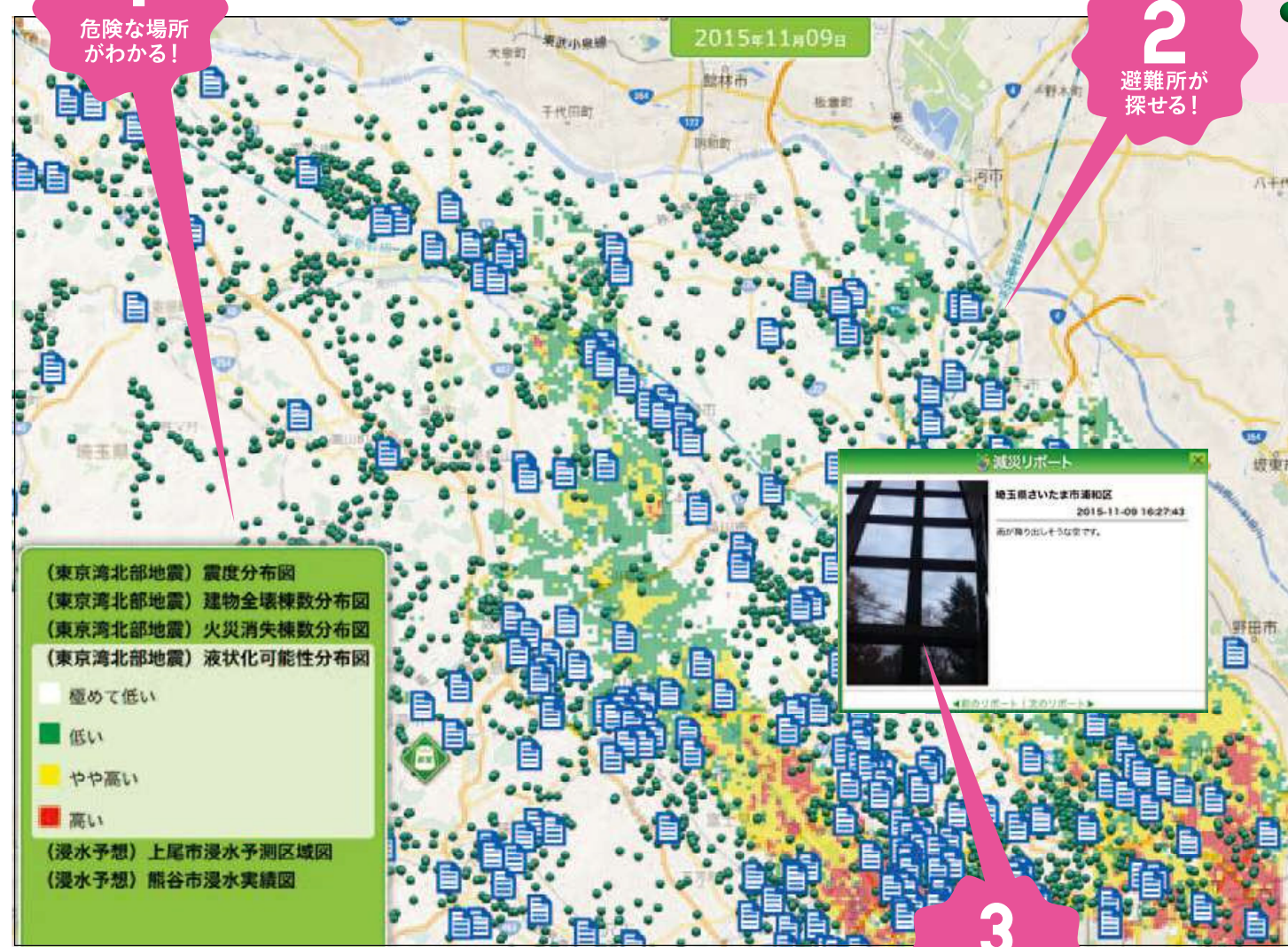
基本的な機能や仕組みはSNSと同じですが、FacebookやブログのようにURLの設定は不要です。Twitterより入力できる文字数が多いのも、特徴のひとつです！

簡単に投稿できる例として、スマートフォンによる使用例を掲載しましたが、左記のQRコード、または以下のURLから、「さいたま減災プロジェクト」のサイトを通して投稿することもできます。  
[http://weathernews.jp/gensai\\_saitama/](http://weathernews.jp/gensai_saitama/)

Q どんな場面で役立つでしょうか？

地盤の「液状化」や「震度分布図」などの防災関連図面を閲覧できるほか、避難所を調べられるので、防災の観点からも役立ちます。自宅の建設や建て替え時に知りたい土地の情報源として活用できます。

1 さまざまな種類のハザードマップを閲覧できます。



1 危険な場所がわかる！

2 避難所が探せる！

3 現在の状況を画像つきで投稿できる！

過去のデータも！  
「さいたま減災プロジェクト」の稼働は平成26年4月からですが、それ以前の情報もさかのぼって閲覧することができます。過去の日付けに絞った検索もできます。

# 「さいたま減災プロジェクト」を活用しよう！

突然襲ってくる地震や洪水などの自然災害…。そんな「もしも」のときに、頼りになるサイトがあることを知っていますか？

地域の生の声を知ることができるだけでなく、自ら情報を発信することもできる、災害時に役立つ「さいたま減災プロジェクト」の取り組みを紹介します！

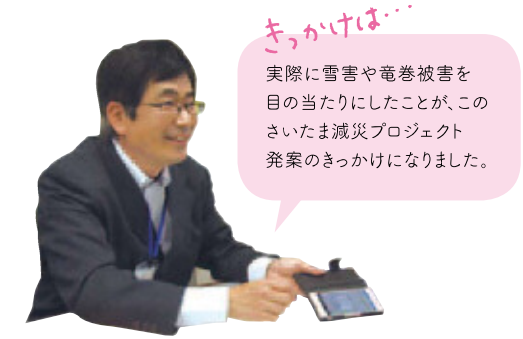
システム導入に携わった田中さんに解説してもらいます！



埼玉県都市計画課 田中勝也さん

Q さいたま減災プロジェクトとはなんですか？

防災および減災を「まちづくり」の一環と捉え、災害時に各自が持っている情報を地域で共有し合うことで自助、共助を推進します。また平時から防災関連図面をワンストップで提供します。災害時に想定されるさまざまな問題を事前に把握しておくなど、災害が起こる以前の包括的な備えを、埼玉県では「事前復興」と呼んでいます。この事前復興を円滑に行うための取り組みのひとつが、「さいたま減災プロジェクト」です。



きっかけは…  
実際に雪害や竜巻被害を目の当たりにしたことが、このさいたま減災プロジェクト発案のきっかけになりました。

Q どのように使ったらよいですか？

地震や強風など、災害の種類ごとに情報を抽出できるため、ユーザーが知りたい情報をピンポイントで得ることができます。また、事前にメールアドレスを登録しておくことで、災害発生時に地域情報を受信することが可能です。